

みうらトーク & トーク 2009 年度第 1 回

日 時 平成 21 年 7 月 30 日 (木)
20 時 00 分から 21 時 00 分

参加者 初声区長会 40 名、市側 15 名

テーマ 三浦みらいプラン 2.1 について
―「もてなし」― 等

団 体 初声区長会

団体の紹介 住民自治と地域住民の生活向上のため相互に協力し、情報の交換を行うとともに市行政の推進のため、協働して三浦市の発展に貢献している。



市長 今日は、トーク & トークということで、市の職員がたくさん来ております。三浦市は総合計画で「もてなしの都市」、もてなしの心を持つ都市を目指して、お客様をお迎えするもてなしの心を持とうということで、いろいろ課題としても取り組んでおります。その中で、いくつかのご指摘もいただいています。限界もありますし、予算の都合もありますので、全部はできないんですが、優先順位をつけて貴重なご意見として受け止めさせていただきますので、いろいろなご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、意見交換に入らせていただきます。まず、本日 5 点ほどご意見をいただいておりますので、そのご意見を先にいただければと思います。まず、三崎口駅周辺の美化について、ご意見をいただければと思います。

市民 5 つほど（テーマを）挙げたんですが、これは一連の話になってまして、抜粋だけだと苦情ばかりですけど、良いことも書いていますので、ちょっとだけ紹介させていただきます。私は十数年前にここに住むことになったんですけど、住むきっかけが、この綺麗な三浦ということで、家内と一緒に「じゃあここに住もう」ということが出発点です。それで住んだ時は非常に良い町だったんです。で、最近ですね、私自動車じゃなくて歩くほうばかりなんですけれど、三浦市の表玄関って言って良いんでしょうか、三崎口駅前が非常に汚いんですね。これは市の問題じゃないと思うんですけど、利益を得ているところが、ゴミを売って、ゴミをそのままにしてるっていうのは私非常に気になってしょうがないんです。

その辺で、駅前とか京急ストア、駐車場周りのゴミの山とタバコの吸殻の散乱という文書になっています。

あと観光客、非常に多いですね。それで、土曜日曜は非常に人が多いのに、なにか三崎口のトイレだけ京急のトイレにしては一番貧弱な部分なんです。皆さん自動車に乗っているとあんまり気にならないかと思いますが、電車通っている人間の意見として聞いていただきたい。

あとそれから、三浦の宝である青い海、自然風景を楽しみに市外から訪れる人のもてなしについて、これがあまりもてなしになってないんじゃないか、ということです。要は磯周りを歩いてもらうと分かるんですけど、通行通路の未整備とかですね、行き先案内板の不備とかいうことで、初めて来た方は、ちょっと歩き辛いんじゃないかというのと、磯周りのゴミの散乱、ビニールゴミが片付けられない限りずっと残っているんですね。ぜひこのへんをみんなの力で、ボランティアを集めればすぐにでも綺麗になるような気がするんです。そういうふうになればメディアも取り上げてくれて、「おお三浦すごいじゃないか」というような話にもなるんじゃないかと。

あと年寄りになると歩いていてトイレが近くなるんですね。で、トイレを探しても綺麗なトイレはところどころあるんですけど、酷いトイレもいっぱいあるんですね。ぜひそのへんの整備をしてもらいたいなというふうに思ったんです。ただ、悪い話ばかりじゃなくて、ボランティア、三浦に登録しているボランティアが30ボランティアくらいありますよね。この方たちが市と協力して、例えば三崎口駅前、ここ一年でずいぶん綺麗になりました。ぜひボランティアの力をですね、存分に使うようにしていただければ、お金もかからないし、綺麗になるのではないかと、5つのことは一連の話になっていますので、簡単に話をさせていただきました。

市長

ありがとうございます。三崎口駅の周辺の美化の課題というのは毎年頂いています。市からは、京浜急行さんが中心で、「けっこう、やってる」とは言っているんですけど、でも実態はそうでもないんですね。本当にボランティアの方に加わっていただいて、駅周辺の環境美化もだいぶ以前よりは良くなっていると思いますけど、まだまだ日々ゴミが捨てられるような状況ですので、なかなか改善が来てないというのが実態だと思います。駅の下の駐車場もゴミがぼんぼん捨ててあったりしますし。駅の横の駐車場とか、臨海高校の生徒さんたちも結構ゴミの意識を持っていただいて、生徒さんに駅前のゴミ拾い、いわゆるスカベンジって言うんですけど、それをやってもらったりしております。現状の環境美化、クリーンアップというプロジェクトでやらせてもらっているんですけど、その件について担当課から説明をさせていただきます。

市職員 三崎口駅周辺のゴミ、私も気になりまして何回も見に行きました。一番汚いと思うのは、駐車場のゴミ、コンビニの裏。それぞれが管理しているところが違うんですね。法律上も土地の管理者責任というものがございまして、駅構内については京急ステーションサービス、それからバス停の付近は京急バス、駐車場のゴミについては三崎観光がそれぞれ管理している。コンビニは京急ストアが展開する一つの事業として管理している。それぞれに昨年もお願ひに行きました。土地の管理者として、責任を持った管理をしてくださいということで。市の方でも看板を用意してありますので、何枚か貼らせていただきました。駅裏の駐車場や法面については京急観光さんの方でも掃除していただいているということで、そういったことをやる前と比べれば、去年はだいぶ綺麗になりました。

今年また同じようなご意見が出されていますので、先日も同じところに行っていました。そこで、コンビニに何とかゴミ箱を置いてもらえるようお願いに行きました。駅の構内は京急さんの方で、爆発物等、そういう事件があつて騒がれたときに、「京浜急行の構内にはゴミ箱は置かない」ということを決めたいらしいです。じゃあせめて、あそこで物を売っているコンビニの方に何とかゴミ箱を置いてほしいということをお願いに行っています。駅長にも頼みました。今後も市としても玄関口になります三崎口駅の清掃について一所懸命やっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

市長 観光、トイレの状況も報告してください。

市職員 現状の観光のトイレでございすが、市内には約 20 カ所公衆便所がありますが、そのうちの 8 カ所が汲み取り式のトイレということで、昭和 40 年代に建てたトイレがまだございすが。確かにハイキングとか、それぞれ公衆トイレがございすが、なかなか整備の状況は。順番に水洗化していきたいという考えはございすが。そういう面で財政面からも思うように整備が進んでいないのが現状ですが、これから公衆便所についても、ハイキングしながら皆さんが楽しめるように順次整備したいということで担当としては考えております。

あと、周遊ルート、ハイキングコースの関係ですが、その道路の未整備とか行き先案内板の不備とかいうことがございすが。なるべく、危険が無い限りですね、そういうところを楽しんで歩いていただければなということで考えております。確かに通りにくい部分も現実的にはございすが。その辺も、地権者の方などとも相談して、できるだけ整備ができる範囲で整備・調整していきたいと考えております。案内板につきましては、三浦市で 94 カ所あります。破損したり文字が見えなくなったりしているところが結構ございすが。26 カ所くらいそういうもの

がありますので、今年度優先的に整備していきたいと思っております。

市長 三崎口のトイレは、三浦市福祉のまちづくり特定事業計画という計画がありまして、多機能型トイレを三崎口の駅に設置するということで、21 年度から 2 カ年で京急が整備する計画になっています。予定通りやるというように京急からお話を聞いていますので、今よりは綺麗になると思います。あと三崎口もそうですが、三浦海岸の駅前の放置自転車も大きな問題になっていまして、あそこは京急の構内に自転車が山積みになっていたり、飲み屋さんの前に自転車が放置されていたり、ものすごい苦情があったんですね。京急にも何度も言っているんですけど、今度、京急で駅舎の整備をやって駐輪場を作るということで合意は取れましたので、次の駅舎の工事と合わせて駐輪場を作ってくれるという話になっています。

ボランティアの皆さんにお力添えを頂いてっていうのは非常に貴重なことだと思います。やはり三崎口・三浦海岸というのは三浦の玄関口ですので、近辺のゴミっていうのは非常に目立つものですから。常に注意をしながら、市の職員も拾いに行ったりというのはやっているんですけど、なかなか追いつかない状況です。駅を降りたときゴミが散らかってたらガッカリしますよね。仰られたとおりでと思いますので、十分注意してまいりたいと思います。答えになっていますでしょうか。

市民 私個人の意見としては、一年前にやってなんら変わっていないような気がして、答えになっていないような気がします。もう少し、たとえばタバコですね。朝来た人はあそこでタバコをのんでから捨てて電車に乗るんですよ。あれを例えばどこか吸い殻入れみたいなやつとか、携帯用の吸殻捨てありますよね。あれを三浦で何とか頑張って配るとかですね、解決策を考えないと、「やるやる」って言ってもあんまり変わらないような気がするんですけど。これは私だけの意見かもしれないですけど。どうでしょうか。

市職員 先ほどちょっとタバコの吸い殻にはお答してなかったんですけど、携帯用の灰皿については、今禁煙・喫煙についていろいろ騒がれている中で、健康にあまり良くないものを市がそれを配布していいのかということがございます。京急も、この間、駅長さんと話したんですが、灰皿を構内に置いて管理がし切れないって話が出ていました。今一番吸殻が捨てられているのはコンビニの裏。なので、証明書の撮影機、その脇あたりに、京急ショップの方に吸殻捨てを置くことをお願いしてまいりました。もし置かれないようでしたら、またお願いしにいきます。

市長 ご指摘いただいたことを、きちんと動けるような体制にしていきたいと思いますので、またお気づきの点がありましたら、何なりと言ってください。言われたから動くでは問題あるんですけど、そうならないようにしていきたいと思います。

今あの吸殻のポイ捨てとか受動喫煙防止ということで今日も県知事と三浦半島地区の市長・町長が集まって懇談会があったんですけど、そこで海水浴場の禁煙の動きっていうのを県知事がぶち上げました。それについて三浦は海水浴場が多いですから、海水浴場の皆さんとこれから調整に入っていくようなことになるんですけど、JT から「立つ灰皿」をいただきまして、喫煙所のようなものを設けたり、海の家の前に灰皿を立ててそこで吸って下さいというようなことも始めたんですね。海岸の煙草の吸殻もそうですし、駅周辺の吸殻もそうですし、ゴミのほとんどは吸殻っていうような傾向もあるんですね。それも十分に認識をいたしています。これからは環境部を中心に対応してまいりますので、また不備がありましたら、すぐにお話をいただければと思います。

いただいたテーマについては答えを準備して、お答をさせていただきましたけど、三浦市はやっぱり観光都市として、農業、漁業、観光というのが基幹産業としてこれからも大事にして育てていくというような政策を立たせていただいています。三浦は自然が売りということもありますんで、自然を大事にしていくために何をしたらいいかっていうようなテーマも、非常に大きなテーマなんですけど、小網代の森が保全されますし、緑を残すという動きはきちんとされていますので、それについて何か日頃気付く点だとか、こうしたらいいよというお話がありましたら、ぜひお聞かせいただければと思いますが。

市民 今市長の方から三浦市の基幹産業は農業と漁業と観光ですか、そういう話がありました。ちょっとその件について触れさせていただきたいんですけど。私この三浦市が変わらなくてですね、ガッカリしている一人です。一週間ほど前ですね、ある二人の若い青年とお会いしました。一人は三浦市の職員の方で、もう一人はその友人でした。その二人の話を聞きまして、私に三浦市についてどう思っていますかっていうことで教えてもらいたいということで、ちょっと雑談をしたんです。それで生まれはこの町ですけど、ちょっと何十年か外にいまして、約10年前にこちらに戻ってきました。それで10年経ってこう見てみますと、市の方には大変恐縮なんですけど、変わってない。正直ですね。それを話しまして。やっぱり10年っていうと昔よく「10年ひと昔」って言いましたけど、今は、10年じゃなくてやっぱり3年、5年と、そういうスパンで変わっていかなければならないという風に思うんです。

それで私は実験的に、ちょうど2か月ほど前に、この初声の町からず一つと城ヶ島まで車で走って見たんです。で、去年かその前におたずねしたんですけど、三

浦市の観光について触れますけど、観光についての案内、そういうものが、あんまり無いんです。三浦市が特に残念なのは、観光はあるんですよ。でも観光地に行かなければ何もわからないと。それで以前もお話しましたが、伊豆半島とかよく行くんですけど、そこには必ず観光案内とかあるんですよ。それは市がやっているか民間がやっているかわかりませんが、三浦市はその辺が非常に弱い。この初声から城ヶ島まで、市役所周辺も行って、全く一つも観光案内の看板が無いんです。これを驚いたんです。これは先般市の職員の人にも話したんですけど、三崎の東岡ってありますね。そこにたまたま、三崎番所という場所に福島の方の会津藩士の方がいたって話を聞いたことがあるんですけど、その亡くなった方の墓石が、ちょうど市役所の周辺にあるってということで、これを探したんです。そうしたら全然わからない。駐車場のすぐそばにあるらしいって話を聞いたんですけど。これは、ちょっと視点を変えますとね、福島のそういうことを勉強された方が、「三浦市にそういうところがあるのかな、ちょっと見てみよう」っていったときに、その案内が全く無い一つの例ですよ。そういったことで、案内看板が全くゼロに近いんです。それが今になっても全く付いていないのは非常に残念なんです。

で、先ほどの話ですけど、二人の方とお話しまして、三浦の将来を考えたいということなんです。それで、たまたまもう一人の方が、たまたま知ってまして。彼は、ちょうど3～4年前に知り合ったんですけど、三浦をすごい好きなんです。で、将来は市長になりたいと、そういうような人間なんです。で、三浦市に年に何回も来まして、海岸を歩いてゴミを拾っていくんです。それでゴミ箱が無くて家に持って帰ったこともあるっていうんです。やはり先ほどの三崎口の駅の周辺の話ですけど、三浦市の方も、お話して実際、なかなか変化が無いっていうことなんです。だからもうちょっとお願いしたことによって、ちょっと変わったとか、そういうことを小さいことでも大きいことでもあって欲しいなと。10年いて10年全く変わっていないというところになってしまうんですけど、そんなことが無いように。今日はお願いをしましたけど、以上です。

市長

ありがとうございます。観光案内板のお話っていうのは昨年も一昨年もお聞きしています。今回、国の臨時経済対策の資金を市がもらって、その中に観光案内板の整備も含めたという状況です。車で通る案内板と、個々の施設にある案内板もありますし、観光施策として、字がはげているような案内板があるということは事実なんです。十分な予算を配分できないような状況は大変辛いんですけど、きちんとご指摘を受け止めて、これからも参考にしていきたいと思いますので。そのようなお答えしかできないんですけど、十分頭に入れておきますので、これからもいろいろご指導いただければと思います。

市民 環境美化の関係なんですけど、行政と関連企業とボランティアとかやってるんですけど、市民を巻き込んだ、いわゆるキャンペーン的なものを何かこう継続的にできないかどうかということ。と申しますのは、横浜西口周辺もですね、市の条例が出来て監視員がいても綺麗にならないのが現状なので、今のままでは期待が薄いような感じがしますので、月に1回やるとかね。

私も年金暮らしで時間はだいぶありますので、そういったボランティア活動もしたいという気持ちもありますし、地域にも話をしてみるとけっこういるんですね。ボランティアの実態もお聞かせ願いながら、そういった活動にどのような形で参加できるのかお聞かせ願えればありがたいのですが。

市職員 ボランティアの現状、それから目標という観点でお話いたします。現状は、ご指摘いただいたとおり、なかなか組織的にはなっていない。たとえばボランティアを受け入れる、登録する、そういう窓口が色んなところにあたりします。福祉のボランティア、あるいは教育のボランティアなどですね。そこでボランティア行政ということで協働推進課では上手く一元化できないかということで考えているところです。

今年度になってから、情報をどういう風に発信していくかということで考えています。そこに、ちょうど今机の上にペットボトルがあるんですが、そのキャップを集めてワクチンに換えるというようなことをやりたいという団体があって、それを具体化しようということでもう近々できるところです。それで市役所と南下浦・初声市民センターにキャップを入れるゴミ箱を置くんですが、ただそれだけ置いても効果が無いということで、宣伝用のボランティアの情報などを貼って発信していこうということをやって、そういうひとつひとつの積み重ねによって、どう変わっていくかということでやっています。ボランティアとして何かやりたいなという方と、こういうボランティアがあるよというその両者、それをどう結び付けていくか。その仕組みとか工夫を今後考えていきたいと考えております。

市長 市の事業でボランティアの仕組み作りというのがテーマにあるんですね。「こういうボランティアをしたい」という市民の方も結構いらっしゃって、その方に紹介をするところが分からないというケースがまああるんですね。それを市が一元化して、こういう登録をしていただいた方に、こういう団体を紹介するという仕組み作りを今重点事業として取り組むように彼のところで準備を進めてますので。それは当然広報とかホームページでどんどんお知らせするようにしていきたいと思っておりますので。ぜひまたご意見いただければと思っています。

市民 今ずっと聞いていますと、市のほうにお気の毒な意見ばかりで可哀そうだなと思ったんですけど、ボランティアについては、私平成 2 年に京急ニュータウンに入りましたが、その時は三崎口駅から下るところの今はマンションが建つところですね、あそこマンションがなかったものですから、京急の土手は本当に草よりも土よりもゴミが多かったです。それから京急の前の植え込みになっているところもすごく荒れていました。

で、三浦市は変わってないということを今言われていましたけど、そこに関してはボランティアが年間を通してやっていて、今ものすごく綺麗ですよ。お花も駅のところもボランティアが管理して。それから降りていくところも、沓形に入ったところでやりきれなくて四苦八苦しているんですけど、あそこもボランティアが年間通してやっていて本当に綺麗です。ですからすごく市も努力してもらって、変わっていますよ。

それから観光案内板も出ていましたけど、三崎口の駅前の掲示板。よく横浜などでボタンを押すと行先がパッと点くようなものがありますよね、ああいうのが出来ないのかな。

公衆便所にしても、小松が池のトイレもすごく整備されているし、公衆トイレもこのところ出来ているのは本当に綺麗に出来ていますので、市のほうも努力しているんじゃないかなと。

市長 いやでも市の職員の給料は税金ですから。言われて当たり前なんです。私も税金で給料もらっていますけど。要するに不合理な話っていうのはいけないかもしれないけど、率直にご意見をさせていただいたものを受け止めるのは至極当たり前の話なんです。

時間も時間ですので、皆さんお疲れのところお集りいただいているので。区長会でも色んなご意見をいただくと思うんで、ぜひ住民の皆さんの意見として汲み上げていただいて、市側ともぜひ色んな面で御調整をお願いしたいと思います。個別の、たとえば道路に穴があいているとか、そういう話が多分あると思うんです。土木の担当はすぐやらなきゃいけないし、例えばそういった時のために直営班とって、すぐにつけられるような人たちでチームを組んでいたりということを今やっていますので。ちょっと枝木が出ていて危ないという話があれば土木のところへ連絡をもらえば対応できますので。そのようなこともしていますので、ぜひ何かありましたら何でもご相談いただくなり、ご指摘をいただくというのは決して悪い話じゃないので。どんどん言っていただければと思います。

市民 私も三浦に来て 30 年位なんですけど、こういう機会は始めてです。ずっと外へ出ていたものですから、地元のことを知らずに実際町づくりがどうされているか

をよく知らないで、ちょっと分からなくて、感じたことだけで申し訳ないんですけど、2、3言わせていただきたいと思います。

実はよく観光客の人たちと駅とかですれ違ったりして、あるいは訊かれたりとか、駅員に訊いているとか、そういうことがあるんです。その中でちょっと気づいたのは、「三浦は観光」ということなんですけど、まず、駅に置いてあるパンフレットが不十分。町全体の観光を案内しているのが分かりにくいし、数も無い。それで駅員に色々訊いてる。駅の人もある程度正確には答えられない。で、何を訊いているかという、「ちょっと散歩してくる／食事してくるけど、そういうところがどこにあるか」そういうような形で訊いてることがありました。それから「寿司を食べたいけどどこかないですか」と駅員に訊いてる。それから「三浦で寿司食ったけど、ひとつも旨くない」と。「三崎は魚が旨いと聞いて来たんだけど」と言っている。外から来る人は三浦っていうと「魚が美味しいだろうな」と思って来ているかもしれないし、あるいは新鮮な野菜があると、魚にしてもあると思って来ていると思うんですけど、どうもそれに答えきれてないんじゃないかと。それから案内についてもそうですね。

ですからもう少しこう、先ほど言われた農業、漁業、観光ですね、一体となって観光客を呼ぶ何か目玉のものを作るとか。三崎に行けば魚はここが良い、野菜ならここ、料理ならここと、それぞれを活かした、自然のものを活かした目玉のものを作ってみるのが良いのでは。今までもトロ饅とか少しあるんですけど、何かこうまだ足りないんじゃないかな。足りないというより、協力が少し足りないのかなと思うんですね。それぞれのところではやっているんでしょうけど。ですからみんなが協力しあって意見交換して、新しいものを作って行ったりする。それからもう少し体験っていうか、農業にしても漁業にしても、その体験をできるような場を作って、そこへお客を呼んで食べたり飲んだりというようなことをするとか。人を集める魅力がちょっと欠けてるかなと。

それから先ほど道路の関係も色々出ておりましたが、その道路も素通りするような道路っていうか、本当に高速道路だけだったら、ただ走って行っちゃうけど、一般道を走るってことは良いと思うんです。その場合、まず三崎へ来たら、目につくところに三崎のシンボルになるものを何か植えるとか、あるいは道路沿いをちょっと一つの花畑じゃないですけど、農業の人たちの協力を得て、沿道をつつ花を植えて、ここに行ったらこの花、ここに行ったらこの花と、種類を変えてやるとか、そういう通ったら何か目につくもの、看板も一つとは思いますが、そういうのをしてみたらどうかと思います。道路も、七曲りにしてもみんなゴミ捨てるからっていつコンクリートになって、殺風景になっているんですけど。そういうふうにして道路沿いの畑とかにも協力いただいて、1メートルとか2メートルをそういうふうにするということで協定を結んで…、まあ色々アイ

デアはあると思うんですけど、思いつくままで申し訳ないんですけど、声を参考にしたらどうかと思います。アンケートとか、観光客の意見を聴くというのが必要だと思っております。

市長 ありがとうございます。貴重なご意見伺いました。いくつかやってることも結構あるんですけど。時間が無いので紹介はできませんが。他に、よろしいですか。

市民 時間がありませんので、2つばかり聞きたいと思います。市長にお願いといいますか、去年5月、三浦半島少年野球大会というのを3市1町でやっていますね。その時に一つ野球場として抜けてるものがあるということになったんです。センター・ポールですね。大会があれば、三浦市の市旗、後援会の旗、連盟旗と、せめてそういう大会があるときにはポールを3つたてていただけますかという話をしたときには、「早速やりましょう」ということが去年の5月の話だったんです。で、今年の5月も大会が終わりましたが、今だにそのセンター・ポールがたっていないような気がするんです。で、今後そのセンター・ポールを3本たてるかどうか、それは大会の時にたてれば結構ですけど、大きな大会があればポールをたてて、メインのグラウンドでこういう大会をやってますよということを意思表示するようなポールを作ってもらいたいということです。それからもうひとつは、色々お話出てます、三崎高校の跡地について三浦市はどういう考え方で今進んでいるのか、この2つを簡単にお願いしたいと思います。

市職員 今センター・ポールのお話をいただきましたが、他の団体さんからもお話をいただいております。今後1年で全体の整備をしていく中で、設置するという計画でございます。ただ、場所としてバックスクリーンの上なのかなと考えていますが、場合によっては法のところを使ってですね、ということになるかもしれません。その基礎の関係もございまして、色々今検討中でございます。

市長 あと三崎高校の跡地については、平成24年度までに事業計画を作り上げるということにしております。三崎高校の跡地を活用するにはグラウンドの底上げが必要だというベースの計画があったもので、残土を入れてグラウンドを底上げするといったことを引橋地区の方にもご説明させていただいています。ただ、事業計画が出来てからでいいんじゃないのかというご意見が強かったということで、その残土を入れてグラウンドを底上げするっていうのは、事業計画を作ってからにしようということに方針転換をしたんですね。結果的に市が多額の投資をして、あの跡地を整備するという手段は三浦市の場合講じられないので、民間企業からいくつかあそこの活用案について、プロポーザルやコンペをやっていくような形

になると思います。そこで市の考えと市民の皆さんからいただいたご意見とが、一番擦り合わせできるような計画を作り上げていく予定です。ですから三崎高校の跡地については年次を区切って順々にやっていきたいと思っております。ですから現状ではあそこに何ができるかということはまだ決まっておりません。そういう状況でございます。

他はよろしいでしょうか。

それでは長い時間、恐縮でございます。いろんなご意見をいただきました。市としてきちんと記録をいたしますので、対応について十分な協議をしていきたいと思っております。これからも色々ご意見をぜひお願いしたいと思っております。本日はありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。